

# 点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■112■

今年桜の開花が例年よりも早かった。前橋市の中心部では3月下旬に満開となり、仕事帰りに前橋公園の夜桜を楽しんだが4月上旬には散ってしまった。今年はまだ桜を見ることはできないかなと思っていたら、支店職員から「赤城南面千本桜はまだ満開ですよ」との情報。さっそく車を借りて行ってみると、満開の夜桜が見事だった。

赤城南面千本桜の標高は約400㍎。前橋中心部よりも300㍎高い。気象庁のホームページによると、桜の開花は標高が100㍎高くなるごとに2〜3日遅くなるそう

## お花見ドライブ

# 標高差で長く楽しむ

私は平たんな田畑が広がる茨城県南部で育ったので、標高の違いと季節

の進みの関係は、頭では理解していたつもりだが身近に感じたのは初めてだった。そうか、もっと高いところに行けばまだ桜を楽しめるのかと、その週末はお花見ドライブをすることに決めた。

土曜日の朝、記念行事のために訪れた榛東村の相馬原駐屯地の桜は残念

ながらほぼ散っていた。行事が終わってから隣の吉岡町へ行くと、滝沢川沿いの桜が満開。ちょっとした場所の違いが日当たりなどに影響するの

な。探せばまだまだ咲いている。その日は水沢観世音、渋川総合公園、佛光山法水寺を巡り、最後に伊香保温泉街の桜を楽

ながら見上げる山腹には、宝石をちりばめたように白いヤマザクラが輝いている。上野村に入る

しんで帰宅した。すっかり味をしめてしま、翌日の日曜日は早起きして藤岡市の桜山公園からスタート。日当た

のしだれ桜、黄色いレンギョウ、白いユキヤナギが風に吹かれて見事な三重奏。

標高の高いスカイブリ



肥後秀明（ひご・ひであき） 1969年生まれ。茨城県出身。東京大経済学部卒。92年に日本銀行入行後、金融機構局考査企画課長兼上席考査役、金融機構局考査運営課長兼上席考査役などを

経て2022年4月から現職。

一日で200㍎走

った疲れを磯部温泉で癒やして前橋に帰った。こんな楽しみ

方ができるのは標高差の大きい群馬県ならでは。

前橋に赴任して良かった、しみじみ感じた一日